

あなたに本が届くまで

こんな本



読んでみて

October - November 2018

No. 73



目次

MIETAN 本つなぎ 第3回

あなたに本が届くまで

Book design の世界 vol.4

ちょこちょこ日記 #13

三重短生のおすすめ本をリレーして
三重短を本でつなげたい！

MIETAN
本つなぎ



今回の本つなぎメンバーは
こちらの2人★



図書館ボランティア部キャラクター
ライブラリアン

かりりりんさん

法経科第2部

2年

さいまなさん

法律コース

2年

—今日はよろしくお願ひします。前回の渚さんときょんきょんさんからつながって、「MIETAN本つなぎ」第3回は、かりりりんさんとさいまなさんにお越しいただきました。早速ですが、かりりりんさんから、おすすめの本を紹介してください。

かりりりん 『きみはポラリス』(三浦しをん著/新潮社)を紹介します。恋愛物の短編小説集です。でも普通の純愛とかじゃなくて、いろいろな恋愛の11のお話が載っています。一番おすすめなのは、「春太の毎日」という作品です。ネタバレしちゃうんですけど、犬目線からの物語なんです。男の子の犬が、飼い主の女の人の彼氏に威嚇してみるシーンがあって、すごくおもしろいと思って特にこれが好きです。お父さんが、小説が好きでいろいろ読んでいて、すすめられて読みました。次に紹介するのは、絵本の『ぞうくんのさんぽ』(なかのひろたかさく・え/なかのまさたかレタリング/福音館書店)です。心がすさんだ時に読むと、純粋に優しい気持ちになれます。

—小さい時に好きだった絵本なんですか？

かりりりん いいえ。大学生になってから読みました。三重短の図書館の絵本コーナーで見つけて。一時期はまってすごく読んでたんです。

—図書館で見つけてくれたんですね！絵本コーナー見てもらえて、すごくうれしいです！



かりりりん 次も絵本の『海』(加古里子ぶん・え/福音館書店)です。これも絵本コーナーで見つけて。小さい子向けかなと思って油断してたら、大人向けなところもあって。絵だけ見ても楽しめるし、おもしろい。

さいまな ほんとだ。「たいようのひかりがとどくところ」とか書いてある。

かりりりん なかなか強い絵本だなと。感動して推しています。

ー続いては、さいまなさんのおすすめの本、よろしくお願いします。

さいまな 『告白』(湊かなえ著/双葉社)です。わが子を亡くした女性教師による告白から始まって、事件について章ごとに語る人が替わって、語る人によって視点が違って、思惑が明らかになっていきます。春休みに帰省した時に読みました。就活ですさんでいた時に、弟がおもしろいから読んでごらんって。就活にも関係ないし、後味悪いし。(笑)でも続きが気になってどんどん読んで、熱中して気分転換になりました。ラストも救いがないんですけどね。

かりりりりん 私は映画を見ました。映画も救いがないかったな。

さいまな 結構暗い話が好きで読んじゃいますね。

かりりりりん 私も暗い話の方が好きかも。



● 3つの質問 ●

ー続いて、3つの質問です。まず①今はまっているものは何ですか？

かりりりりん 飼っているうさぎです。実家で飼っていて、今は下宿なので、毎日のようにお母さんに写真や動画を送ってもらって、家に帰ってひたすら毎日見えています。(笑)男の子で やまと っていう名前です。ライオンラビットっていう種類で、頭の周りもささになるはずなのに、成長しても特に変わりがなかったですね。さいまなも、犬飼ってるよね？

さいまな うん。私も実家に犬がいるので。恋しいよね。私もよく写真送ってもらっています。スマホの壁紙にもしてる。(笑)ミニチュアダックスフントの男の子で、名前は まゆ です。元気にいつも遊んじゃうから、寝てる場所じゃないとなかなか写真撮れないんです。

ーさいまなさんのはまっているものは？

さいまな 海外ドラマです。今見ているのは『クリミナル・マインド』です。心理学的に犯罪者をプロファイリングして事件を解決するドラマです。父が海外ドラマをよく見ている、その影響で一緒に見ているうちに、一人でも見るようになりました。



ー一本もそうでしたけど、家族の紹介っていいですね。かりりりりんさんもドラマは見ますか？

かりりりりん 私も海外ドラマ見ます。ホラーの『スーパーナチュラル』とか、刑事ドラマの『BONES』とか。

さいまな 私もどっちも見たいところあるから、すごいシンパシー感じた！

ー前回の渚さんからの質問。②好きな映画、教えてください。

かりりりりん 『ジュラシック・パーク』です。恐竜が好きなんです。最新の『ジュラシック・ワールド/炎の王国』もおもしろかったです。夏休みだったので、映画館で周りが男の子ばかりで恥ずかしかったです。(笑)自分が好きなモササウルスが出ていて。なかなか強いんです。

ーモササウルスのどんなところが好きですか？

かりりりりん ワニの原型みたいな感じなんですけど、何メートルもあって。水中にこんなに大きいのがいるんだ！って。

ーもし本当にジュラシックパークがあったら行きますか？

かりりりりん 行きますね、たぶん。年パスとか買うかもしれない。(笑)福井県にある恐竜博物館にもよく行きます。

さいまな めっちゃ好きだね！私の好きな映画は『アントマン』です。アリが苦手なんですけど、大丈夫でした。(笑)主人公が小さくなったり大きくなったり、アリに指示を出したり。マーベル映画が好きで、マーベル映画を薦めるなら『アントマン』を薦めますね。話も独立しているし、分かりやすいし、コメディの部分も多くて、終わり方もきれいで、ヒーローものの王道って感じがしてとても好きです。続編の『アントマン&ワズプ』もこれから見に行く予定です。



ー最後はきょんきょんさんからの質問です。③自分の好きなところ、教えてください。

かりりりりん 常に笑顔！です。気づいたら笑ってる。(笑)

ーすてきです！いつも笑顔でいようと心がけているんですか？

かりりりりん 何も考えてないですね。(笑)怒ることがなくて。悩んでも、寝て食べたらまあいっかって。(笑)知らないうちに周りの人には迷惑をかけて、フォローしてもらっていると思います。

さいまな そんなことはないよ。しゃべると元気出るから、超好きなの！

かりりりりん ありがとう！

ー続いて、さいまなさん。

さいまな 食べ物の好き嫌いがないことです。いろんなものをおいしく言いながら食べてます。

ーそれはいいことですね！かりりりりんさんは、苦手な食べ物がありますか？

かりりりりん トマトをそのまま食べるのが苦手です。でも加熱してあるものは大丈夫で、前にさいまなの作ったミートソースをごちそうしてもらったことがあって。すごい好き！おいしかった！

さいまな よかった！ありがとう。たまに料理をするので、おいで！って誘うんです。

ーお料理も得意なんですね。小さいころから何でも食べられたんですか？

さいまな 嫌いなものがあつたら残していいよって言われて育ったので、かんばんて食べた記憶はないですが、牛乳は苦手でした。それも小さいころなので、小学校の給食の時は大丈夫でしたね。



—今年の図書館キャンペーン『図書館コラボ』に将棋囲碁部さんが参加していただけることになりました。お二人とも将棋囲碁部で、さいまなさんが部長さんなんですよね。

さいまな はい。よろしくお願いします。どうぶつしょうぎ・はさみ将棋・将棋くずしを、図書館で体験してもらうイベントを企画しています。なかなか将棋をする機会がないと思うので、これをきっかけに興味を持ってもらえたらいいなと思います。

—たくさんの方に参加してもらいたいですね。よろしくお願いします。今日は、お二人のすてきなところなどたくさんお話を聞かせていただきありがとうございました。図書館でお会いしても、なかなかここまでお話を伺う機会がなかったので、うれしかったです。

かりりりん・さいまな ありがとうございました。楽しかったです。

今回の MIETAN
本つなぎ

●かりりりんさん●

『きみはポラリス』（三浦しをん著／新潮社）

『ぞうくんのさんぽ』

（なかのひろたか著・え／なかのまさたかレタリング／福音館書店）

『海』（加古里子ぶん・え／福音館書店）

●さいまなさん●

『告白』（湊かなえ著／双葉社）

3



4



5

書く人がいて、



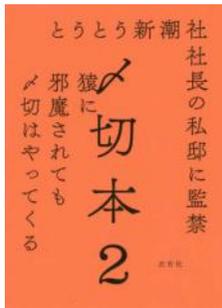
『倒れるときは
前のめり』
有川浩 著
KADOKAWA
914.6||A 71

書くこと、読むこと、生きること。作品に込められた想いや、日々のできごとなどがつづられた、有川浩さんの初エッセイ集。



『ご本、
出しときますね?』
BSジャパン、
若林正恭 編
ポプラ社
914.6||B 79

オーディリーの若林さんと小説家とのトーク番組をまとめた一冊。作品や物事に対する考え方から、人としての小説家の魅力が伝わってくる。



『**メ**切本2』
左右社編集部 編
左右社
914.68||Sa 99||2

作家にとって**メ**切はどんな存在なんだろう。完成された作品からは知ることのできない、作家のリアルな姿が見えてくる一冊。苦しみを超えて届いた作品、あらためて大切に味わいたい。



『マンガの描き方
似顔絵から長編まで』
手塚治虫 著
光文社
726.107||Te 86

「漫画は落書きから始まるのだ。」という手塚さん。まずは一枚の紙と一本の鉛筆で書いてみよう。入門編からプロのテクニックまで、教えてくれる。漫画の持つ力を感じられる一冊。

作る人がいて、



『舟を編む』
三浦しをん 著
光文社
913.6||Mi 67

辞書編集部へ配属された馬締光也は、仲間とともに新しい辞書『大渡海』の完成を目指す。辞書ってこんなに熱い本だったんだ！



『クローバー・レイン』
大崎梢 著
ポプラ社
913.6||O 73

ふとしたきっかけで手にした素晴らしい原稿を本にしたいと奮闘する編集者の物語。作家、作家の娘、出版社、書店員...本に関わる人々のさまざまな想いに胸が熱くなる。



『彼方の友へ』
伊吹有喜 著
実業之日本社

憧れの雑誌「乙女の友」に関わることになった波津子の激動の物語。登場する雑誌の表紙、付録、文章がとてもしらきらと輝いている。想いは現代にもきっと届いている。



『紙つなげ! 彼らが
本の紙を造っている
再生・日本製紙石巻工場』
佐々涼子 著
早川書房
585.067||Sa 71

本の用紙を生産する製紙工場は震災で被害を受け、機能停止した。絶望的な状況の中、半年での復興を目指し、あきらめなかった人たちの姿が記されている。紙にも注目して読んでほしい一冊。



『**本屋さんのダイアナ**』
 柚木麻子 著
 新潮社
 913.6||Y 99

2人の少女の成長物語。正反対にも思える大穴と彩子をつないだのは本だった。はなればなれになっても心のどこかにあなたがいてくれた。



『**桜風堂ものがたり**』
 村山早紀 著
 PHP研究所
 913.6||Mu 62

百貨店内の書店に勤める一整は、ある事件がきっかけで店を辞めることに。ネットで付き合いのあった、小さな町の古い書店、桜風堂書店の店主に会いに行く。



『**ねえ、委員長**』
 市川拓司 著
 幻冬舎
 913.6||I 14

学級委員長の繭子は、ふとしたきっかけで本が苦手だという鹿山に翻訳小説をすすめ、距離が縮まっていくが...。「あなたに教えたい本がたくさんあるの。」



『**読ませられ図書室**』
 小林聡美 著
 宝島社
 019||Ko 12

女優の小林聡美さんが14人からの推薦本を読んでみた。意外な本との出会い、発見って楽しい。あなたも読ませられてみて。



『**世界の不思議な図書館**』
 アレックス・ジョンソン 著
 北川玲 訳
 創元社
 010.2||J 64

あなたにとって図書館はどんなところ？イメージがガラッと変わるような図書館が、この本にたくさんつまっている。本+読みたい人+届けたい人=図書館



『**走れ！移動図書館**
 本でよりそう復興支援』
 鎌倉幸子 著
 筑摩書房
 015.5||Ka 31

震災の被災地の人々へ本を届ける移動図書館プロジェクト。本のチカラを信じて、本を届けたいという気持ち、つなげていきたい。



『**本から始まる物語**』
 阿刀田高 ほか 著
 メディアパル
 913.68||A 94

本や本屋をテーマにした18の掌編小説集。人気作家の作品が少しずつたくさん読める贅沢な本。あなたでのひらからはじまっていく。



『**ほんはまっていますのぞんでいます**』
 かこさとし 著
 復刊ドットコム
 010||Ka 27

1985年に童心社より出版された本の復刊。本に出会う場所はいろいろ。それでも本を読みたくないという方もいるでしょう。「ほんはいつでもいつまでもまっています。」

そして、本を受け取るあなたがいる。

Book design

の世界

vol. 4

田中久子さん

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本の外装をデザインする仕事を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載ではデザインや装丁家の仕事から、本を楽しみたいと思います。第4回目は、田中久子さんです。

今回は、田中久子さんが装丁を手掛けられた本を紹介します。

まずはこちら『**荒神**』（宮部みゆき著／朝日新聞出版／2014年／913.6||Mi 71）です。漫画『この世界の片隅に』の作者 こうの史代さんの装画です。新聞連載時には挿絵を担当されていました。見返し・はなぎれ・しおりには、深い赤色が使われており、装丁から神聖な空気が感じられます。



装画：この史代

続いては『**ネガティブ・ケイパビリティ 答えの**

出ない事態に耐える力』（帚木蓬生著／朝日新聞出版／2017年／493.7||H 14||A）です。ネガティブ・ケイパビリティという「どうにも答えの出ない、どうにも対処しようのない事態に耐える能力」を扱うこの本には、高山裕子さんの装画に、文字がすっきりと配置されています。筆使いが見えるようなこの装丁から



装画：高山裕子

らは、静かだけれど強い力を感じます。

『**星の子**』（今村夏子著／朝日新聞出版／2017年／913.6||I 44）では、植田真さんの装画が使われ、ラストシーンを思わせます。見返しにはクラフト紙を使い、ピンと張りつめるようなストーリーの中にどこか素朴な雰囲気のある作品に、寄り添うような装丁です。



装画：植田真



装画・オブジェ：勝本みつる
写真：松浦文生

次の『**ことり**』（小川洋子著／朝日新聞出版／2012年／913.6||O 24）は、小鳥たちの声に耳をすます兄弟の物語です。カバーには、勝本みつるさんの作品。木のオブジェに鳥が一羽、黒い皿にガラスの球が二つ。物語の持つ静かでやさしい空気を伝えています。

今回、最後に紹介するのは『**あの家に暮らす四人の女**』（三浦しをん著／中央公論新社／2015年／913.6||Mi 67）です。表と裏の表紙の対比が印象的な野口奈緒子さんの装画、見返しには植物とハニカム模様の黒い紙を用いるなど、古びた洋館に住む4人の女性のひっそりにぎやかな様子が、不気味な美しさをもって表現された装丁です。



装画：野口奈緒子

今回、田中久子さんの装丁を通して、本に寄り添う装丁を味わうことができました。次回もお楽しみに。



ちょこちょこ日記 #13 「ライブラリアンとロゴ」

三重短には、図書館ボランティア部があります。2005年の10月から活動をはじめました。この10月で13年がたったのですね。

3年前の2015年度には、10周年を記念して、イメージキャラクターとロゴマークを作りました。メンバーが考えたものを持ち寄って、投票で決定しました。



それがこちらです。キャラクターは、ライブラリアンといます。図書館が好きな宇宙人。頭についている球の色で気分が分かります。経商コースYさんの作品です。



ロゴマークは、三重短の学章とロゴ、そして本をイメージして作られました。図の字をよく見ると顔が隠れているんですよ。こちらは居住環境コースYさんの作品です。

キャラクターもロゴも、図書館ボランティア部ではもちろん図書館でも大活躍しています。図書館ホームページにはライブラリアンの紹介ページがあります。こちらものぞいてみてくださいね。

そしてライブラリアンは『第4回 図書館キャラクター・グランプリ』へエントリーしました！入賞を目指してがんばっています。応援よろしくをお願いします(^O^)/



こんな本読んでみて No.73

2018年10月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>